

## 令和7年度 第2回「生徒による授業アンケート」について（報告）

本校の教育活動につきましては、日頃よりご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。さて、このたび令和7年7月に第2回の「生徒による授業アンケート」を実施いたしました。第1回の結果を踏まえ、授業改善への手立てを検討し、各教科で授業の質の向上に取り組んでおります。つきましては、各教科のアンケート集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧いただき、ご質問やご意見などがありましたら、ご連絡くださいるようお願いします。

## 1. 集計対象の科目（一部略称あり）

| 教科名  | 科目名   | 教科名 | 科目名   |
|------|---|-----|---|
| 国語   | 文学国語*2<br>古典探究<br>論理国語<br>必選論理国語*2*3                      | 芸術  | 音楽III<br>書道III<br>*2*3<br>*2*3                    |
| 地歴公民 | 地理総合*1<br>日本史探究*3<br>政治経済<br>必選政治経済*2*3                   | 外国語 | 英語コミュニケーションIII<br>論理・表現II<br>必選英語*2<br>*2<br>*2*3 |
| 数学   | 数学III*2*3<br>理系数II*2*3<br>数学C*2*3<br>数学A*1*3<br>必選数II*2*3 | 家庭  |   |
| 理科   | 化学*2*3<br>物理*2*3<br>物理基礎*1<br>必選化基*2*3                    | 情報  |   |
| 保健体育 | 体育*1<br>体育*2<br>スポーツ概論*1<br>スポーツ総合演習*1<br>スポーツ技術*2        |     |   |

\*1 スポーツ科学科のみの科目 \*2 普通科のみの科目 \*3 選択科目 \*4 習熟度別授業を展開している科目

## 2. 質問及び選択肢の一覧

| 分類     | 質問  | 略称         |
|--------|---|------------|
| 授業のあり方 | 1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。       | 理解度        |
|        | 2 毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。  | ねらい・ふりかえり  |
|        | 3 授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをとおして、自分の考えを広げ深める機会がある。    | 思考の機会      |
|        | 4 授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。      | まとめ・解決の機会  |
| 学習の状況  | 5 先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。         | 意欲的態度      |
|        | 6 予習、復習をしっかりしている。                                   | 予習・復習      |
|        | 7 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。             | 成長実感       |
|        | 8 授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。         | 思考の実践      |
|        | 9 授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。 | まとめ・解決の実践  |
|        | 10 授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。       | 既習事項とのかかわり |
|        | 11 家庭学習を習慣化している。                                    | 家庭学習       |

|     |               |              |           |            |     |
|-----|---------------|--------------|-----------|------------|-----|
| 否定的 | 1 ほとんどあてはまらない | 2 あまりあてはまらない | 3 ほぼあてはまる | 4 かなりあてはまる | 肯定的 |
|-----|---------------|--------------|-----------|------------|-----|

問合せ先  
副校長 吉垣 武  
電話 046-241-8001

### 3. 各教科の回答割合（一覧）

#### 4. 各教科の集計分析及び授業改善案

| 教科   | 集計分析   | 授業改善   |
|------|--|--|
| 国語   | 論理国語、文学国語、古典探究のいずれの科目においても、〈理解度〉の項目については肯定的な回答が多かったが、その一方で、学習の状況については、「予習・復習」、「家庭学習」の項目において、1学期と同様他の項目よりも否定的な回答が多かった。家庭学習の定着については、次年度も引き続き重点的に取り組んでいきたい。   | 各科目で実施している小テストに関しては、計画的にテスト勉強ができるよう、テスト実施日および範囲の周知徹底を行う。<br>各科目で配付している復習用ワークシートを「予習・復習」や「家庭学習」として有効活用できるよう、計画的に配付するとともに、改めて生徒への声かけを行う。   |
| 地歴公民 | 政治経済では、「予習・復習」・「家庭学習」を除く9項目で82%~93%の肯定的回答を得ることができた。これは授業で取り上げている事項に意欲的に取り組み、かつ学習内容につながりを感じ、自己の成長を実感できている生徒が多くいると考えられる。<br>また、毎回低い「予習・復習」「家庭学習」の回答に向上が見られた。時事問題を踏まえた授業内容がニュース等の視聴につながったのではないかと考えられる。  | わずかでは「予習・復習」・「家庭学習の習慣化」に改善が見られた。<br>引き続き「わかる授業」としての質を高め、生徒が授業外でも意欲的に学ぶような働きかけをおこなっていきたい。<br>また、学習意欲に欠ける生徒への手立てとしてこれも引き続きペアワークやグループワークをこれまで以上に取り入れていきたい。  |
| 数学   | 「身についたことを実感できた」という評価も高いことから、基礎・基本の部分の定着が見られる。2学期は自分で考えを深める時間も確保できたことから、評価が高くなつたと感じた。   | 授業を通して自分の考えを深める時間を確保できたことはよかったです。今後は小テストも有効活用し、受験に向けて努力させたい。授業内容の定着度を理解し、さらなる理解度に合わせた授業を心掛けたい。   |
| 理科   | 授業のあり方に関してはどの科目も肯定的回答を多く得ている。各科目で以下の項目について否定的回答が多かった。物理では「ねらい・振り返り」の項目で否定的回答が約12%であった。化学基礎では否定的回答がなかった。これは9名の少人数クラスによるものである。生物では、「思考の機会」の項目で否定的回答が12%であった。物理基礎では「家庭学習」の項目で否定的回答が約30%であった。なお、化学では「予習・復習」の項目で否定的回答が約13%であった。<br>学習の状況については、どの科目も「予習・復習」や「家庭学習」が例年と同様、否定的な回答の数値が高い。 | 授業のあり方に関して各科目で次のように改善する。物理では、発展的な内容を交えてより深い課題を課し、思考力を高める。化学基礎では、継続して現状のことを続けていく。生物では、日常の課題を設定し、生徒同士による話し合いを設け、思考の機会を増やしていく。物理基礎では、単元のまとまりごとに実験課題を設定し、まとめと解決の機会を設ける。<br>学習状況に関しては、学習内容をより深められるような課題を工夫し、発表やレポート、小テストなどを通じて学習習慣を定着させる。また、理科においては日頃から自然現象に関心を持ち、他教科との関連性を意識することが予習であり、家庭学習となることを周知する。 |
| 保健体育 | スポーツ科学科のスポーツ概論、スポーツⅡ、スポーツ総合演習に関しては100%肯定的な回答を占める項目があるなど、肯定的な回答が全体を通して多数であった。<br>普通科の体育でも、理解度や成長実感の項目で90%程度が肯定的な回答であった。ただ、思考の機会が81%にとどまったことが今回の課題といえるだろう。<br>第1回に継続して、すべての科目において、他学年も含めて、予習・復習、家庭学習の項目に課題を抱えている。  | 授業運営に関しても生徒自身が気づき、考え、行動するよう促すよう意識した。技能や戦術的な思考の機会をグループワークや話し合いをプリントを通して行うなど可視化すると改善できるかもしれないと思った。<br>今回、スポーツ総合演習が予習・復習、家庭学習の習慣化を除き、すべての項目で100%肯定的な回答であった点から、スポーツ総合演習の授業を分析し、他の科目に活かすことを教科担当全体で共有したい。  |
| 芸術   | 書道で全ての項目で肯定的回答が見られた。音楽でも肯定的回答が多くみられたが、「予習・復習」、「家庭学習」の項目では否定的回答がみられた。   | 3年次で芸術科目を受講している生徒は、1年次より継続して受講している生徒である。学習内容が積みあがっている実感できるよう、見通しを立てながら指導計画を作成する。また身につけた資質・能力を、社会と関わりながら働かせられるよう活動を充実させる。   |

|             |  |  |
|-------------|--|--|
| 外<br>国<br>語 | <p>どちらの科目も、「予習、復習をしっかりしている」と「家庭学習を習慣化している」の項目で否定的回答が多い結果となった。授業以外で授業と連動した課題を与え、生徒の自発的な学習を促す必要がある。</p> <p>一方で、ねらい・振り返りの機会やまとめ・解決の機会において特に高い評価を得ている。授業作りにおいて様々な活動が、生徒にとって英語を運用している実感を得られていると考えている。</p> | <p>各科目において、授業と連動した課題等を与え、より授業の理解度を高めたり、学習を習慣化させる工夫が必要である。タブレットを用いてアプリによる学習を促していくたいと考える。</p> <p>また、授業ではなかなか扱えていないライティングやリスニングなどの課題を与え、より統括的に英語力の向上を目指したい。</p> |
|-------------|--|--|

※紙面の都合上、質問内容については**〈略称〉**を用いて表記しています。

| 分類     | 質問  | 略称         |
|--------|---|------------|
| 授業のあり方 | 1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。       | 理解度        |
|        | 2 毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを取り返したりする機会がある。  | ねらい・ふりかえり  |
|        | 3 授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをとおして、自分の考えを広げ深める機会がある。    | 思考の機会      |
|        | 4 授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。      | まとめ・解決の機会  |
| 学習の状況  | 5 先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。         | 意欲的態度      |
|        | 6 予習、復習をしっかりしている。                                   | 予習・復習      |
|        | 7 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。             | 成長実感       |
|        | 8 授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。         | 思考の実践      |
|        | 9 授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。 | まとめ・解決の実践  |
|        | 10 授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。       | 既習事項とのかかわり |
|        | 11 家庭学習を習慣化している。                                    | 家庭学習の習慣化   |